

障がい等のある受検生への合理的な配慮 配慮内容例

TEAP

試験名：TEAP

※各区分に記載している「配慮する事項」は、代表的な事項を例として掲載しています。なお、表に記載がない受検上の配慮を希望する場合は、各資格・検定試験実施主体に相談してください。（英検サービスセンター TEAP運営事務局 03-3266-6556） *TEAP CBTについては、障がい等のある方への特別措置対応は、「TEAP」にて承っております。

【ア】視覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項(例)					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
全盲の方		<ul style="list-style-type: none"> 別室 解答時間 延長 (通常10秒→20秒) Part 1 C 図表の理解と組み合わせた英文の聞き取り (5問) 免除 Part 2 B 長い英文の聞き取り (図表も含む) ……不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 点字 (2級点字 (縮約使用)) の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法 	<ul style="list-style-type: none"> 別室 時間延長 Part 2 A 図表の読み取り ……不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 Part 3 B 長い英文の読み取り (図表も含む) ……不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 点字 (2級点字 (縮約使用)) の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法 	<ul style="list-style-type: none"> 別室 時間延長 問題文中の図表については、不自由の度合いを考慮し、グラフまたは数値化等で出題 点字 (2級点字 (縮約使用)) の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答する方法 	<ul style="list-style-type: none"> 一般同室 (優先受験) 別室 トピックカードの読み取り時間の延長措置 点字 (2級点字 (縮約使用)) のトピックカードを使用して受験 	<ul style="list-style-type: none"> TEAP特別措置申請書 障がいの程度を証明する書類 (障害手帳のコピー、医師の診断書等) 状況報告書 (一部の措置のみ)
障害等級が6級程度より重度の視覚障がい者の方	<ul style="list-style-type: none"> 機器の持参使用 (点字盤、バーキンス、ルーペ、拡大機器、オプテスコップ、照明器具、触知時計) 介助者の同伴 (試験中は除く) 乗用車での来場 	<ul style="list-style-type: none"> 別室 解答時間 延長 (通常10秒→20秒) Part 1 C 図表の理解と組み合わせた英文の聞き取り (5問) 免除 Part 2 B 長い英文の聞き取り (図表も含む) ……不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 拡大文字A3での実施 ……弱視用のA3問題冊子 (25Pゴシック系文字) を使用して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 普通文字A4での実施 ……弱視用のA4問題冊子 (18Pゴシック系文字) を使用して受験し、A4の文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 オプテスコップでの実施 ……弱視用のA4問題冊子 (18Pゴシック系文字) をオプテスコップで拡大して受験し、直接問題冊子に○をつけて解答する方法。 	<ul style="list-style-type: none"> 別室 時間延長 Part 2 A 図表の読み取り ……不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 Part 3 B 長い英文の読み取り (図表も含む) ……不自由の度合いを考慮し、表・数値・グラフ等で出題 拡大文字A3での実施 ……弱視用のA3問題冊子 (25Pゴシック系文字) を使用して受験し、A3の拡大文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 普通文字A4での実施 ……弱視用のA4問題冊子 (18Pゴシック系文字) を使用して受験し、A4の文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 オプテスコップでの実施 ……弱視用のA4問題冊子 (18Pゴシック系文字) をオプテスコップで拡大して受験し、直接問題冊子に○をつけて解答する方法。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般同室 (優先受験) 別室 (オプテスコップ) ※機器設置・撤収のため (優先受験) トピックカードの読み取り時間の延長措置 拡大文字A3での実施 ……25Pゴシック系文字を使用した拡大トピックカードで受験。 普通文字A4での実施 ……18Pゴシック系文字を使用したトピックカードで受験。 オプテスコップでの実施 ……通常のトピックカードをオプテスコップで拡大して受験。 		
それ以外の視覚障がい者の方		<ul style="list-style-type: none"> 文字解答 ……文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字解答 ……文字解答用紙に解答番号を書き込む方法。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字解答 ……解答を文字解答用紙に書き込む方法。 	<ul style="list-style-type: none"> 優先受験 ……受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。 	

【イ】聴覚に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項(例)					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
障害等級が6級程度より重度の聴覚障がい者の方	<ul style="list-style-type: none"> 機器の持参使用 (補聴器、FMマイク付き補聴器) 	<ul style="list-style-type: none"> リスニングテスト免除 ……不自由の度合いを考慮し、リスニングテストを免除。 強音放送 ……リスニングテストを別室にてボリュームを上げて受験。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配置して受験。 ※強音放送のみ別室 ※受験者心得を文字で提供 	<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配置して受験。 ※受験者心得を文字で提供 	<ul style="list-style-type: none"> スピーキングテスト免除 ……不自由の度合いを考慮し、スピーキングテストを免除。 FC+口話 ……Examinerからの指示・質問およびPart 2でのロールプレイでは、英文が書かれたフラッシュカードを提示。受験者は口頭英語で応答・発音。 ※受験者心得を文字で提供 ※一般同室 (優先受験) ※フラッシュカード提示のため、通常時間よりは長くなる 	<ul style="list-style-type: none"> TEAP特別措置申請書 障がいの程度を証明する書類 (障害手帳のコピー、医師の診断書等) 状況報告書 (一部の措置のみ)
それ以外の聴覚障がい者の方		<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……スピーカー近くに座席を配置。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配置。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……リスニングテストの座席配置措置のため、スピーカー近くに座席を配置。 	<ul style="list-style-type: none"> 大音 ……通常通りの面接を行うが、初めに聞こえ具合を確認し、大きめの音で行う。 ※一般同室 (優先受験) 	

【ウ】肢体不自由に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項(例)					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
障害等級が4級程度より重度の上肢障がい者で書字ができないまたは著しく困難な方	<ul style="list-style-type: none"> 机の持参使用 車椅子の持参使用 介助者の同伴 (試験中は除く) 乗用車での来場 	<ul style="list-style-type: none"> 口述解答 ……上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に、受験者が口述した解答の選択肢を、試験監督者がマークシートに転記する方法。 ※別室 チェック解答 (時間延長あり) ……上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と普通 (A4) の内、どちらかを使用。 ※別室 ※解答時間延長 (通常10秒→20秒) 	<ul style="list-style-type: none"> 口述解答 ……上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に、受験者が口述した解答の選択肢を、試験監督者がマークシートに転記する方法。 ※別室 チェック解答 (時間延長あり) ……上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と普通 (A4) の内、どちらかを使用。 ※別室 ※時間延長 	<ul style="list-style-type: none"> ライティングテスト免除 ……不自由の度合いを考慮し、ライティングテストを免除。 拡大解答用紙への解答 ……上肢が不自由なため拡大解答用紙に解答する方法。解答用紙は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と普通 (A4) の内、どちらかを使用。 ※別室 ※時間延長 ……PCによる解答 ……上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に協会が用意するタブレットPCを用いて、テキスト文書を作成して解答する方法。Wordなどの文書作成ソフトは使用できない。タブレットPCにはタッチペンが付属。 ※別室 ※時間延長 ……事前申請により許可 (キーボード持込、マウス持込) ※USB差込口は1つ。 ※個人PCの持込不可 ※ソフトウェアのインストール不可 	<ul style="list-style-type: none"> 優先受験 ……受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室 (優先受験) 	<ul style="list-style-type: none"> TEAP特別措置申請書 障がいの程度を証明する書類 (障害手帳のコピー、医師の診断書等) 状況報告書 (一部の措置のみ)
上記以外の上肢障がい者の方	<ul style="list-style-type: none"> チェック解答 (時間延長なし) ……上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と普通 (A4) の内、どちらかを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> チェック解答 (時間延長なし) ……上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○をつけて解答する方法。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と普通 (A4) の内、どちらかを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大解答用紙への解答 ……上肢が不自由なため拡大解答用紙に解答する方法。解答用紙は事前申告にあわせ、拡大 (A3) と普通 (A4) の内、どちらかを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> 優先受験 ……受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室 (優先受験) 		
下肢障がい者の方・体幹機能障がい者の方	<ul style="list-style-type: none"> 試験会場内での移動や座席の配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験会場内での移動や座席の配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験会場内での移動や座席の配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 優先受験 ……受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室 (優先受験) 		

【エ】病弱に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項(例)					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
病弱体質で特別措置申請をされた方	<ul style="list-style-type: none"> 机の持参使用 介助者の同伴 (試験中は除く) 乗用車での来場 車椅子の持参使用 	<ul style="list-style-type: none"> 試験会場内での移動や座席の配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 別室 (時間延長なし) ……受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験会場内での移動や座席の配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 別室 (時間延長なし) ……受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験会場内での移動や座席の配置に配慮。 ※会場設備により別室受験となる場合がある。 別室 (時間延長なし) ……受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 	<ul style="list-style-type: none"> 優先受験 ……受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室 (優先受験) 	<ul style="list-style-type: none"> TEAP特別措置申請書 障がいの程度を証明する書類 (障害手帳のコピー、医師の診断書等) 状況報告書 (一部の措置のみ)

【オ】発達障害に関する配慮事項

対象となる者	配慮する事項(例)					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
発達障がい等で特別措置申請をされた方	<ul style="list-style-type: none"> 介助者の同伴 (試験中は除く) 乗用車での来場 	<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……受験者の状況により教室内の座席を予め設定。試験方法は一般と同一。 時間延長 ……学習障がい等により必要と判断された場合は、試験時間を延長し、別室での受験を設定。技能別に申請できる。 ※解答時間延長 (通常10秒→20秒) ※別室 別室 (時間延長なし) ……受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 解答方法 ……マークシート以外での解答方法を希望する場合は、視覚障がい者用・上肢障がい者用の資料を転用できる。申請書の「特記事項」欄にその旨を記載。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……受験者の状況により教室内の座席を予め設定。試験方法は一般と同一。 時間延長 ……学習障がい等により必要と判断された場合は、試験時間を延長し、別室での受験を設定。技能別に申請できる。 ※別室 別室 (時間延長なし) ……受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 解答方法 ……マークシート以外での解答方法を希望する場合は、視覚障がい者用・上肢障がい者用の資料を転用できる。申請書の「特記事項」欄にその旨を記載。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席配置 ……受験者の状況により教室内の座席を予め設定。試験方法は一般と同一。 時間延長 ……学習障がい等により必要と判断された場合は、試験時間を延長し、別室での受験を設定。技能別に申請できる。 ※別室 別室 (時間延長なし) ……受験者の状況により必要と判断された場合は別室での受験を設定。試験方法は一般と同一。 解答方法 ……マークシート以外での解答方法を希望する場合は、視覚障がい者用・上肢障がい者用の資料を転用できる。申請書の「特記事項」欄にその旨を記載。 	<ul style="list-style-type: none"> 優先受験 ……受験者の不自由の度合いを考慮して面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう措置。スピーキングテストの実施方法は通常通り。 ※一般同室 (優先受験) 	<ul style="list-style-type: none"> TEAP特別措置申請書 障がいの程度を証明する書類 (障害手帳のコピー、医師の診断書等) 状況報告書 (一部の措置のみ)

【カ】その他の配慮事項 (【ア】～【オ】の区分以外の者)

対象となる者	配慮する事項(例)					必要な提出書類
	全ての技能において配慮する事項	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング	
器質性、運動障がい等で特別措置申請をされた方					<ul style="list-style-type: none"> スピーキングテスト免除 ……不自由の度合いを考慮しスピーキングテストを免除。 発話への配慮 ……話が始まる、大きな声が出ないなどの状況を Examinerに伝え、注意深く受験者の発話を聞く、受験者の発話が止まっても解答を促すような声かけを行わずに制限時間まで待つ、受験者に大きな声での発話を促さない、等の配慮。面接の実施方法は通常通り。 ※各パートには制限時間あり。 ※一般同室 (優先受験) 	<ul style="list-style-type: none"> TEAP特別措置申請書 障がいの程度を証明する書類 (障害手帳のコピー、医師の診断書等) 状況報告書 (一部の措置のみ)
吃音症その他で特別措置申請をされた方	<ul style="list-style-type: none"> 介助者の同伴 (試験中は除く) 				<ul style="list-style-type: none"> スピーキングテスト免除 ……不自由の度合いを考慮しスピーキングテストを免除。 発話への配慮 ……話が始まる、大きな声が出ないなどの状況を Examinerに伝え、注意深く受験者の発話を聞く、受験者の発話が止まっても解答を促すような声かけを行わずに制限時間まで待つ、受験者に大きな声での発話を促さない、等の配慮。面接の実施方法は通常通り。 ※各パートには制限時間あり。 ※一般同室 (優先受験) 	